

# レビューシート(事業改善型)

様式 1

レビュー項目 (事業名)	ひょうご産業SDGs推進宣言事業・認証事業				部(局)	産業労働部				
					所管課	地域経済課				
					担当班	経営支援班				
					連絡先	078-362-3313				
開始年度	令和4年度	終了年度	令和11年度	関連計画等	兵庫県地域創生戦略 令和7年度アクション・プラン					
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )				実施主体等	公益財団法人ひょうご産業活性化センター				
事業目的	サステナビリティやエシカルへの意識が高いZ世代の人材確保や、市場におけるサプライチェーンの信頼確保等の観点から、SDGsの取組みは県内中小企業にとって大変重要である。 そこで、中小企業のSDGsに関する取組み目標を広く公表する推進宣言事業や具体的な取組みを促す認証事業を通じて、中小企業におけるSDGs経営を推進し、若者に選ばれ地域とともに歩む企業の育成を図る。									
事業概要	◆宣言事業 SDGsの17の目標のうち1つに関する取組み目標をHPなどで広く公表する企業を認定。 ◆認証事業 SDGsの具体的な取組みを専門家による審査を経て、認められた企業を認証。 ◆上記取組みのPR活動(フォーラムの開催、外部専用HPに本県企業の取組み特集ページを開設など)									
これまでの改善状況	R5.8 県と主要経済団体との共催により「ひょうご産業認証事業創設記念フォーラム」を開催 R6.8 推進宣言の募集期間を年3回募集から常時受付へ変更 R7.1 オンラインSDGsプラットフォーム「Platform Clover」に特集ページを開設し、認証企業の先進的な取組みを発信 R7.1 「ひょうご産業SDGsフォーラム」を開催し、ローカルSDGs研究の第一人者である慶應義塾大学の川久保俊准教授による基調講演等を実施									
業務フロー	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>【宣言事業】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【認証事業】</p> </div> </div>									
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額		5年度決算額		6年度決算額		7年度当初予算額	
	事業費①		10,359 千円		21,050 千円		31,884 千円		28,562 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		20,928 千円		3,630 千円		2,000 千円	
		補助金・交付金	10,359 千円		0 千円		26,569 千円		24,385 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円			
		その他	0 千円		122 千円		1,685 千円		2,177 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(10,359千円)		(10,525千円)		(9,927千円)		(9,310千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(10,525千円)		(21,957千円)		(19,252千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		11,462 千円		21,464 千円		30,747 千円		28,562 千円	
	執行率((①/②)×100)		90.4%		98.1%		103.7%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人
			4,129 千円		4,125 千円		4,361 千円		4,499 千円	
		職員給与費 a	3,568 千円		3,578 千円		3,800 千円		3,952 千円	
		賞与引当金繰入額 b	292 千円		297 千円		292 千円		297 千円	
		退職手当引当金繰入額 c	269 千円		250 千円		269 千円		250 千円	
総コスト(①+③)		14,488 千円		25,175 千円		36,245 千円		33,061 千円		

## 様式 1

指標名	区 分	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 目標	最終目標 【年度】
成果指標(アウトカム指標①)	目 標	400	600	2,000	5,000	6,000
	実 績 ( 見 込 )	391	1,641	4,052	(5,252)	【R11年度】
	(単位当たりコスト)	(37 千円)	(15 千円)	(9 千円)	(6 千円)	
	達 成 率 ( 見 込 )	97.8%	273.5%	(202.6%)	(105.0%)	
成果指標(アウトカム指標②)	目 標	—	400	600	800	900
	実 績 ( 見 込 )	—	153	362	(562)	【R11年度】
	(単位当たりコスト)	—	(165 千円)	(100 千円)	(59 千円)	
	達 成 率 ( 見 込 )	—	38.3%	(60.3%)	(70.3%)	
成果指標(アウトカム指標③)	目 標	46	50	55	60	70
	実 績 ( 見 込 )	46	44	51	(60)	【R11年度】
	(単位当たりコスト)	(315 千円)	(572 千円)	(711 千円)	(551 千円)	
	達 成 率 ( 見 込 )	100.0%	88.0%	(92.7%)	(100.0%)	
活動指標(アウトプット指標①)	目 標	—	—	—	—	5
	実 績 ( 見 込 )	—	—	—	—	【R11年度】
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
	達 成 率 ( 見 込 )	—	—	—	—	
活動指標(アウトプット指標②)	目 標					
	実 績 ( 見 込 )					
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
	達 成 率 ( 見 込 )	—	—	—	—	
活動指標(アウトプット指標③)	目 標					
	実 績 ( 見 込 )					
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
	達 成 率 ( 見 込 )	—	—	—	—	
終期設定	有 (令和11年度) 無					
改善基準						
評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)			
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民ニーズを的確に踏まえた事業か</li> <li>民間での事業実施は見込めない事業か</li> <li>指標・目標設定は適切か</li> <li>活動実績は十分か</li> <li>想定された成果を達成しているか など</li> </ul>		<p>評価指標に対して、一定達成はしている。企業におけるSDGs経営への課題(何から取り組めば良いか分からないなど)に的確に対応した事業となっている。</p>		<p>県内企業のSDGsに対する理解が広がりつつあることから、宣言企業数は、令和6年度目標を大幅に上回っている。一方で、認証企業数は、目標に未達であることから、SDGs経営の導入による効果や本事業の有有用度などをより積極的にPRしていく必要がある。</p>	
評価	<p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務改革に取り組んでいるか</li> <li>コスト削減の工夫を行っているか</li> <li>ICTや民間活力は活用しているか</li> <li>受益者負担は適正か</li> <li>財源確保の工夫は行っているか など</li> </ul>		<p>申請書の受付窓口を外郭団体とし、認証事業の審査事務を経営の専門家である中小企業診断士に依頼するなど、業務の分散化・効率化を図っている。</p>			
	<p>課題・今後の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 改善    <input type="checkbox"/> 他事業と統合    <input type="checkbox"/> その他</p> <p>説明 <span style="font-size: 2em;">{</span> 宣言企業から認証企業への着実なシフトはもとより、認証企業同士の交流、先進企業の体験・指導、SDGs導入段階企業への意識啓発(SDGs経営チャレンジテスト)など、企業のフェーズに応じた施策を講じるとともに、これらを循環させることにより、SDGsの取組を県全域へと拡げ、SDGs認証企業の増加を目指す。</p>					
外部委員会意見	<p>・実態の伴わない「SDGsウォッシュ」の抑止のためにも、数の拡大と同時に、取組内容の精査や質の向上(認証の継続やステップアップを促す仕組み)が重要ではないか。</p> <p>・SDGsの終期(2030年)以降の展望も視野に入れ、認証企業間でのコミュニティ形成や好事例の横展開が必要ではないか。各企業で最終的なゴールが異なることも踏まえつつ、好事例の横展開を行い、優良企業を表彰する制度も検討していただきたい。</p> <p>・学生は「地球環境」や「持続可能性」に関心があるため、認証企業の取り組みをもっと見える化し、広報に活用すべき。</p> <p>・ホームページに無料テンプレートのロゴが残っているため、デザイン上の改善を検討していただきたい。</p> <p>・「宣言企業数」「認証企業数」はアウトプット指標ではなくアウトカム指標として設定すべき。ステップアップの成果が見える指標が望ましいため、「認証継続企業数」や「上位ステージへの移行企業数」などを新しくアウトカム指標に設定してはどうか。</p> <p>・県の具体的な行動を指標化すべきであるため、例として「県への報告に基づくフィードバック実施企業数」を設定してはどうか。</p>					
改善結果						
<p>・認証企業間のコミュニティ形成や好事例の横展開、取り組みの更なるレベルアップなどを目的として、新たに認証企業交流会の開催をすることとした。</p> <p>・若者目線での認証企業のPRIに向けた「学生による動画制作」と制作した動画の発信やSDGs専用のオンラインプラットフォームの更なる充実などを通じて、県内企業の魅力発信をさらに進める。</p> <p>・各種指標については、委員の意見を踏まえて見直し。</p>						